

技術士 1 次試験に合格して



南谷 真介

(みなみや しんすけ)

勤務先

リコー IT ソリューションズ株式会社

エンベデッドソリューション事業部

〒066-0807 札幌市北区北 7 条西 4-12 日本生命札幌北口ビル

TEL 011-716-7660 FAX 011-716-7664

E-mail shisuke.minamiya@jp.ricoh.com

■ 専門：情報工学部門(ソフトウェア工学)

自己紹介

私は千歳市出身で、大学は実家を離れ室蘭市で過ごしました。専攻は情報工学です。

大学卒業後、リコー IT ソリューションズ(株)に入社し、北見事業所に 3 年、以降は札幌事業所に勤務しています。新規テーマ立ち上げに伴い、東京・神奈川に 3 年弱長期出張での滞在経験があり、関東にも土地勘があります。

仕事は、主に組込ソフトウェアの要件定義・設計・実装・評価と、一貫した開発を行っています。また、リーダーとしてチームマネジメントも行っています。得意分野はネットワークとセキュリティです。

受験のきっかけ

技術士という資格があることは把握しておりましたが、IT 関連資格には情報処理技術者試験・ベンダー系資格など様々なものがあり、また難易度が高いということもあり、取得を後回しにしていました。

そうこうしているうちに、大学卒業による 1 次試験免除期間が過ぎてしまったのですが、技術者として客観的な評価・社会的信頼を得るため、また後進育成のために経験によらない体系化した知識を得る必要性を感じており、ようやく重い腰を上げ受験に踏み切りました。

学習方法

情報処理技術者試験の高度試験に合格していたため、専門科目は免除されました。そのため、基礎科目と適正科目の学習を 1ヶ月前から行いました。

学習は、主に過去問の回答・復習を行いました。7 年分を全体 2 回、さらに間違えた問題を集中して学習しました。

基礎科目は、得意科目を確実に取れるようにすると得点が安定します。情報工学部門を受験される方

は、「情報・論理に関するもの」がターゲットとなりますが、応用情報処理技術者レベルの知識をお持ちであれば、追加の学習は不要と思います。次に、得点しやすい科目を増やしました。「設計・計画に関するもの」の信頼度・クリティカルパス・QC7 つ道具など実務で使用している知識を、「解析に関するもの」の微分積分・内積・行列・合成抵抗などの簡単な計算問題を、得点源にしました。

適正科目は、技術士法・技術士倫理綱領・技術士に求められる資質能力については、文章を覚えるより自分なりの技術士像を明確にすると、正答率が上がると思います。また、不正解の選択肢についても理由も含めて覚えるのが重要です。

受験体験

まず、自信のある問題から解答しました。時間は半分以上余っていたので、そこから解りそうな問題を探して解答しました。一見全くわからなくても、問題文をしっかりと読むと地頭力で解ける問題もありますので、最後まで諦めずに解答しました。

最後に

これからの技術者は、SDGs・ESG 経営・コンプライアンスなど、技術だけではなく多様で変化の早い様々な要求に応え、成果を出していく必要があると考えています。技術士試験では、技術者としての姿勢やあり方などを包含した内容となっており、バランスよく幅広く知識を得ることが出来、世間の動向に対応したカリキュラムになっていると感じました。受験を検討されている方はぜひチャレンジし、知識を深めて頂ければと思います。

今後は技術士第 2 次試験の合格を目指しますが、学習を通して自己研鑽を重ね、技術で社会に貢献していければと考えております。